


KJ法を活用したワークショップを实践しよう

KJ法はワークショップやブレインストーミングなどに応用され、広く活用されています。文化人類学者川喜田二郎氏によって創案された発想法です。フィールドで集めた（取材した）データを定性的にとらえていく「現場の科学」ともいべき方法です。特に社会調査や地域診断、ワークショップ、アンケートの項目づくり、業務改善、リスクマネジメントなどにおいて多角的な面からの意見集約と構造化に有効です。この講座ではKJ法の手法の基礎的な方法を学び、実際にワークショップを体験し、実践力を養うことを目的とします。

日 時	6月22日（土） 10:00~17:00
会 場	サテライトキャンパスひろしま 広島市中区大手町1丁目5-3（広島県民文化センター内）
講 師	県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学科 教授 田中聡子
対 象	KJ法、ワークショップに関心のある方
定 員	20名（先着順）
受 講 料	3,000円
申込締切	令和元年6月4日（火）必着
申込方法	下記のQRコード又は本学ホームページのURL上「申込フォーム」に入力してください。 https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=348 申込締切日以降にメールで受講案内と振込案内を送付します。  また、従来どおり郵送でのお申込みも可能です。 【郵送】公開講座申込書（別紙）をご記入いただき、返信用封筒※を同封のうえ、下記へ送付してください。宛先は、公開講座「KJ法を活用したワークショップ」係。 ※返信用封筒（長形3号：横120mm×縦235mm）に82円切手貼付。
主催 問合せ先	県立広島大学 三原地域連携センター 〒723-0053 三原市学園町1番1号 電 話：0848-60-1200（平日9:00-12:00/13:00-17:00） メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

内 容	① KJ法の概論とブレインストーミングの方法まとめ方としての図解化とプレゼンテーションまでを学ぶ
	<p>KJ法の概要を学びます。また、広義のKJ法には、単にデータを統合するだけではなく、データを収集(あるいはアイデアを発散)させる技法があります。「パルス討論」とは会議討論法として生み出された方法です。テーマに沿って実際にパルス討論を体験します。これによりブレインストーミングのまとめの方法を体得していきます。</p> <p>テーマに沿って出た意見をデータとしてまとめていくために、KJ法の図解化の方法を学びます。基礎の部分であるデータ収集の方法やまとめ方としての探検ネットの方法や図解を体験し、実際のワークショップでの活用方法を学びます。多角的な意見を構造的にまとめて、実践に活用する方法を体験します。</p>

----- 切り取り線 -----

公開講座「KJ法を活用したワークショップを实践しよう」申込書

名前 (ふりがな)	
受講案内送付先	〒
電 話	() - 日中の連絡先 :
E-mail	
所属先及び職種	
修了証交付	<input type="checkbox"/> 交付希望 ・ <input type="checkbox"/> 不要